

安全マネジメント推進要綱

平成29年度



両備ホールディングス株式会社

両備バスグループ

両備バスカンパニー

両備バス関西カンパニー

両備津山カンパニー

東備バス

は じ め に

当社は平成28年度に「バス運転中のスマートフォン操作」と「有効な自動車車検証の交付を受けていない事業用自動車を運行した」事案で行政処分を受けました。世間の皆様方に多大なるご迷惑をおかけいたしまして、深くお詫び申し上げます。これを反省し、信頼回復に向けて法令の遵守及び輸送の安全確保を徹底し、全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

平成29年度も「日本一安全な運輸企業」を目指した取組みを引き続き実施します。平成21年2月に発せられた経営トップのコミットメントは、日本一安全な運輸企業を目指すとした大作戦を展開し、管理者・乗務担当社員・労使が一体となり、真の現場目線で指導・訓練を確実に行うことにより、社会やお客様に対し安全・快適な輸送サービスを提供するものです。

具体的には、SSPブラッシュアップ推進委員会での組織活動により、1人のリーダーが5人の指導を行い(チーム5制度)、全体のレベルアップを図ります。現場指導を中心とし、無事故模範乗務担当社員であるリーダーが自らの経験による事故回避の秘訣を班員に伝授することにより、「考える運行のできるセールスドライバー」を育成します。

事故は、COO・管理者・運行管理者・教育担当者や整備担当者と労組・乗務担当社員との共同正犯であることを受け止め、全社一丸で対応します。

事故を未然に防ぐため、安全設備搭載の新型車両、点呼・健康管理新システム等のハード面の充実を図るほか、運転適性診断や健康診断、添乗指導の結果を基に要注意者をリストアップし、グループのバス会社と合同で教育をすることにより、ドライブレコーダー、デジタルタコグラフにて多角的な視点から「悪い癖」を修正していきます。とりわけハインリッヒの法則の通り、小さい事故の積み重ねが重大事故に繋がっている点から、小さい事故の段階での指導をより強化していきます。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕(真心からの思いやり)」の精神での運転&接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となるよう全社員の力を結集し、安全&快適運行に努めます。

両備バスグループ安全指針

安全が最大の顧客サービス（「人命第一」&「安全最優先」）

厳正な点呼の実施（「国交省メールマガジン」&「個人重点目標」）

安全意識を高め、現場力のアップ（SSPブラッシュアップ運動）

安全確保重点カレンダーに従った事故防止（「人命第一」人身事故防止運動）

平成29年 グループ安全スローガン

組織でつくろう 報告・安全文化！

平成29年 両備バス安全目標

信頼回復

- ・優しい運転、思いやりの対応で車内事故撲滅
- ・指差確認喚呼を徹底し、発車・後退時の事故撲滅

事故削減心得6則

- ・車両の特性を知りましょう。
- ・運転技術を磨きましょう。
- ・健康状態を管理しましょう。
- ・道路交通法を守りましょう。
- ・接客サービスを徹底しましょう。
- ・国土交通省告示第1676号の各項目を厳守しましょう。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1) 両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

2) 活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使参加で、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

3) 安全方針

- ①安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- ②車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行うこと。
- ③点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- ④教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- ⑤万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

2. 輸送の安全に関する目標(平成29年度)

10万キロ当たり責任事故件数0.05件以下達成を目標とする。

責任事故 10件以内

(責任事故…過失割合が重く、事故損害額が50,000円を超える事故)

3. 事故に関する統計(平成28年度)

自動車事故報告規則 第2条に規定する事故	人身	0件	0.000件/10万 ^{キロ}
	車両故障	6件	0.029件/10万 ^{キロ}
責任事故		21件	0.103件/10万 ^{キロ}
総事故(含 被害事故)		71件	0.349件/10万 ^{キロ}

(統計年度は4月～3月 東備バス含む)

目標の10万キロ当たり責任事故件数0.05件以下は0.10件のため未達成

4. 輸送の安全に関する組織体制(別紙)

- ①両備グループ安全マネジメント委員会
- ②両備バス安全マネジメント委員会
- ③両備グループバス部門SSPブラッシュアップ推進委員会

5. 輸送の安全に関する重点施策

- ①運転行動の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。
- ②指差確認喚呼と左折時一旦停止の励行で交差点事故を根絶します。
- ③点呼・健康管理システム「点呼・健康:ご安全に!」を活用し、健康起因事故の防止を図ります。
- ④頭部MRI検査と睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を実施し、健康状態を管理します。
- ⑤車両の不具合による事故の根絶を図ります。
- ⑥「点呼・健康:ご安全に!」と車両管理システムの連携により無車検運行を防ぎます。
- ⑦ヒヤリハット情報&国交省メルマガの活用で、予見運転意識を高めます。
- ⑧事故・苦情の撲滅を目指したSSPブラッシュアップ運動の展開で、現場力を高めます。
- ⑨教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、飲酒&薬物にかかる指導を継続的に行います。
- ⑩情報の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。
- ⑪事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。
- ⑫両備グループ交通違反制度により道路交通法遵守の徹底を図ります。
- ⑬職場内対話の充実により、風通しの良い職場を構築し、不安全行動を防ぎます。
- ⑭全乗務担当社員のドライブレコーダーを定期的に確認し、結果に基づいた指導を実施します。

6. 事故・災害時の連絡報告体制(別紙)

7. 輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

輸送の安全目標達成のため、昨年の事業の検証を行い、現状の問題点を抽出した上で、安全マネジメントの実効をあげる輸送の安全に関する計画を見直しします。

8. 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9. 輸送の安全に関する研修・設備投資等の実施計画(別紙)

10. 輸送の安全に関する内部監査

- ①安全統括管理者による内部監査(年1回)
- ②グループ安マネ委員会監査委員・SSPブラッシュアップ委員による業務監査(随時)
- ③カンパニー長(副カンパニー長)による抜き打ち訪問(随時)
- ④内部監査委員による定例監査(整備・人事・財務)
- ⑤労使メンバー安全点検職場巡回(年12回)

11. 行政処分の公表(別紙)

12. 安全に関する資料、記録の保存

- ①輸送の安全に関する基本的な方針
- ②輸送の安全に関する重点施策
- ③事故・災害時の連絡報告体制
- ④輸送の安全(施策の見直し)に関する会議の議事録
- ⑤事故・災害等報告記録
- ⑥運輸局通達等発信情報記録
- ⑦輸送の安全に関する内部監査結果

13. 経営トップによる見直し・改善指示

両備グループ安全マネジメント委員会を毎月開催し、経営トップの判断が必要な場合は、遅滞なく改善指示をします。

【運転中のスマートフォン操作によるもの】

行政処分の公表

当社は近畿運輸局大阪運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所
両備バス関西カンパニー大阪支店
2. 処分内容
文書警告
3. 違反条項
運転者に対する指導監督義務違反(旅客自動車運送事業運輸規則第38条第1項)
4. 当該処分に基づき講ずる措置
運転者に対し、法令の遵守および輸送の安全を確保するための指導の充実化を図ります。
また、受講後の効果測定で習得状況を確認し、完全に理解できるまで繰り返し指導を
徹底してまいります。
5. 処分を受けた日 平成28年11月17日

以上

【無車検運行によるもの】

行政処分の公表

当社は中国運輸局岡山運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所

両備バスカンパニー倉敷営業所

2. 処分内容

事業用自動車(貸切バス)の使用停止 10日車

3. 違反条項

①有効な自動車検査証の交付を受けていない事業用自動車を運行の
用に供していた。

②点呼の記録の記載事項に不備があった。

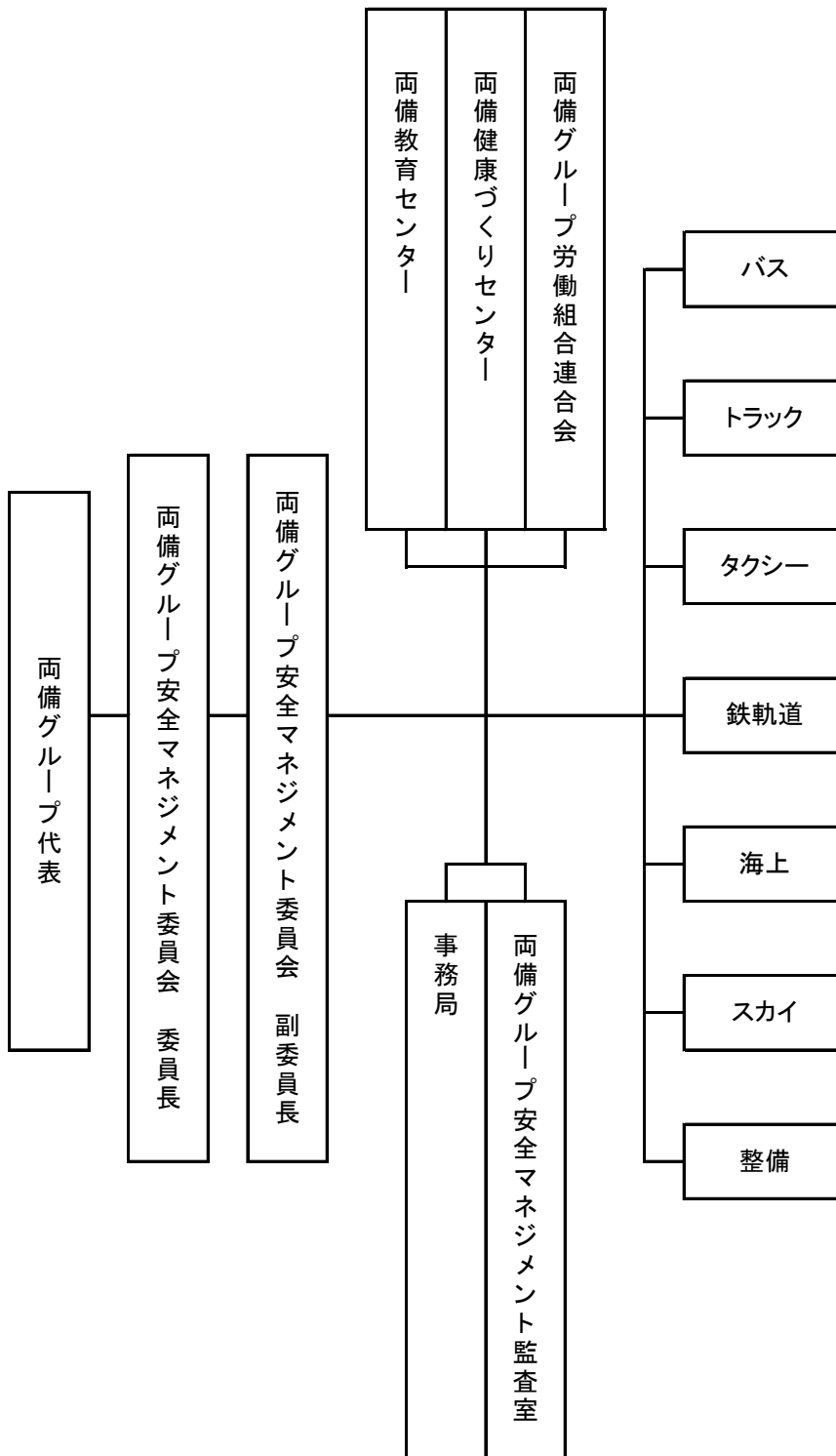
4. 当該処分にに基づき講ずる措置

ヒューマンエラーを防止するために、始業点呼時に車検有効期限を
確認するシステムを導入します。

5. 処分を受けた日 平成29年5月31日

以上

両備グループ安全マネジメント委員会組織図



両備バス安全マネジメント委員会組織図

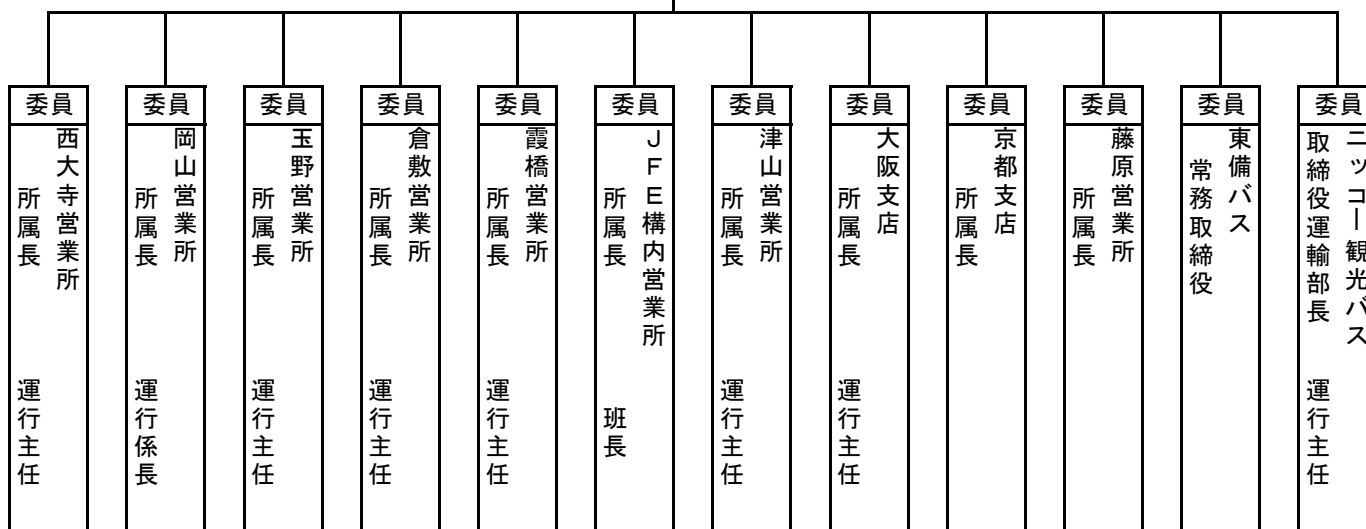
両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 両備タクシーカンパニー
 東備バス
 ニッコー観光バス

H21年 4月15日
 (変更)H27年 4月16日

委員長兼事故審査委員長
 両備バスカンパニー長

事務局
 管理部部長
 運輸部部長
 管理課係長
 管理課主任
 CS推進室長
 車両課係長

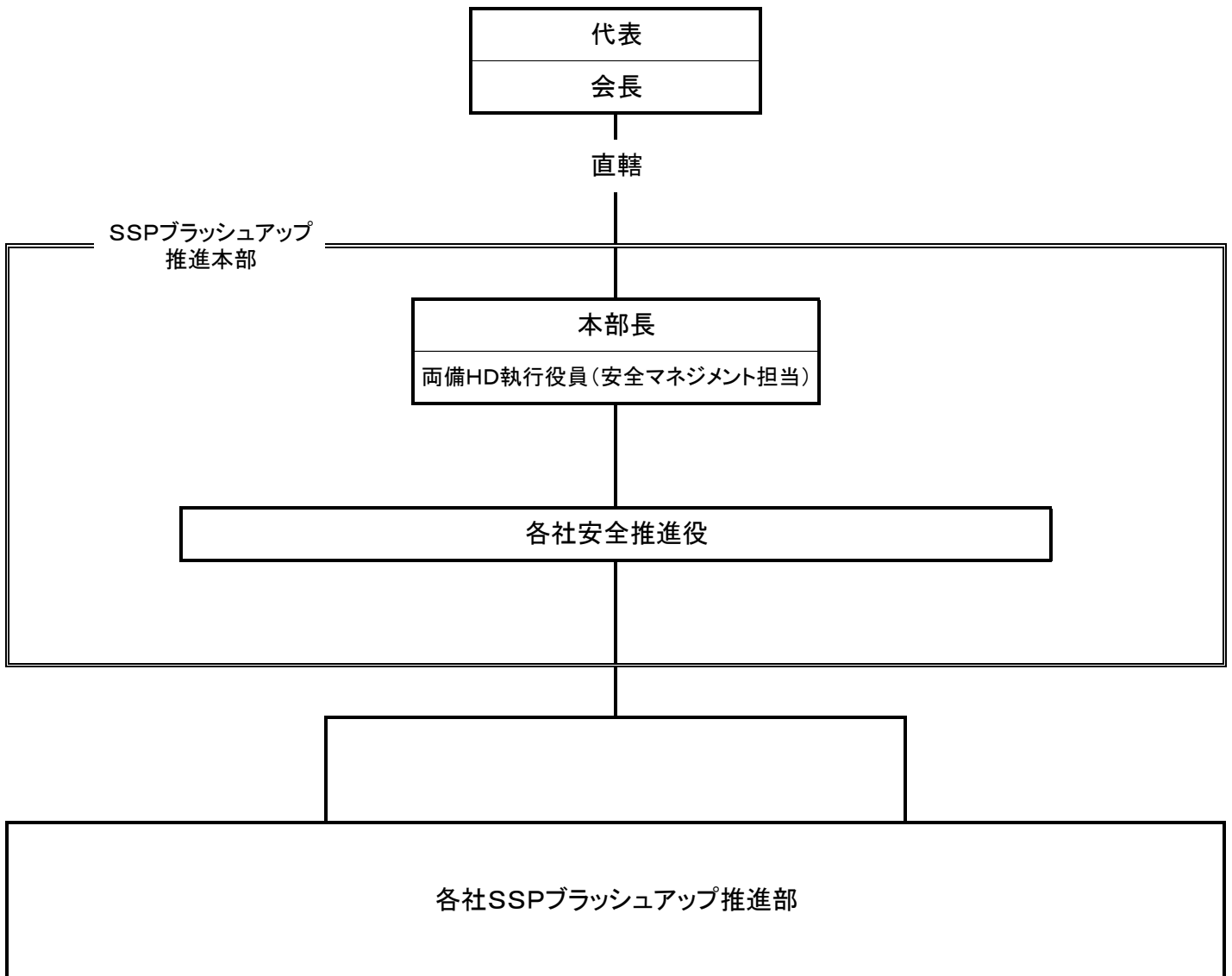
オブザーバー
 両備教育センター長
 両備ホールディングス代表取締役専務
 両備バスカンパニー顧問
 両備テクノカンパニー長
 岡山電気軌道 安全・CS課長
 両備バス労働組合 委員長
 " 副委員長
 " 書記長
 " 事故対策部長



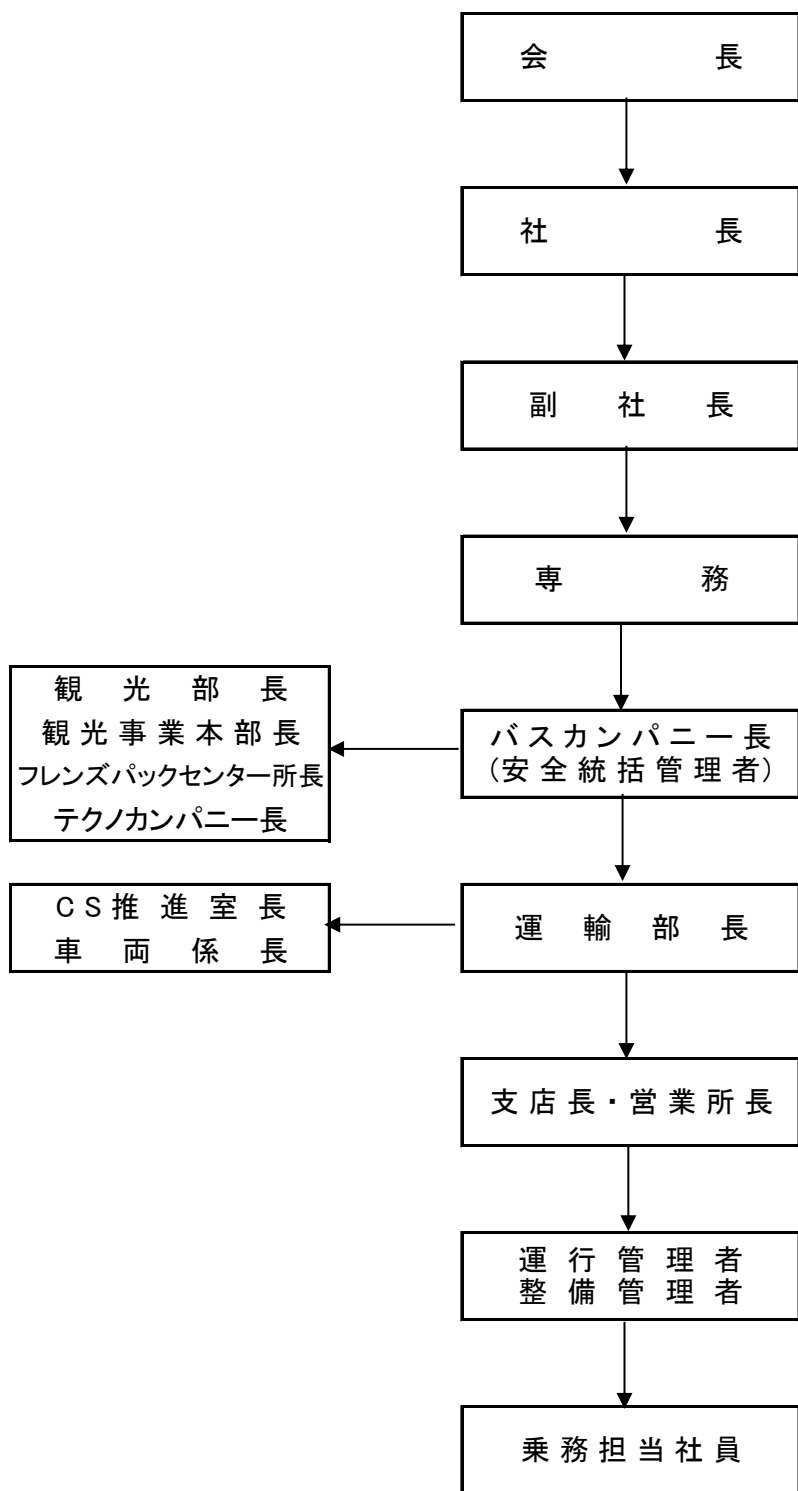
両備グループ バス部門 SSPブラッシュアップ組織図

平成25年4月1日

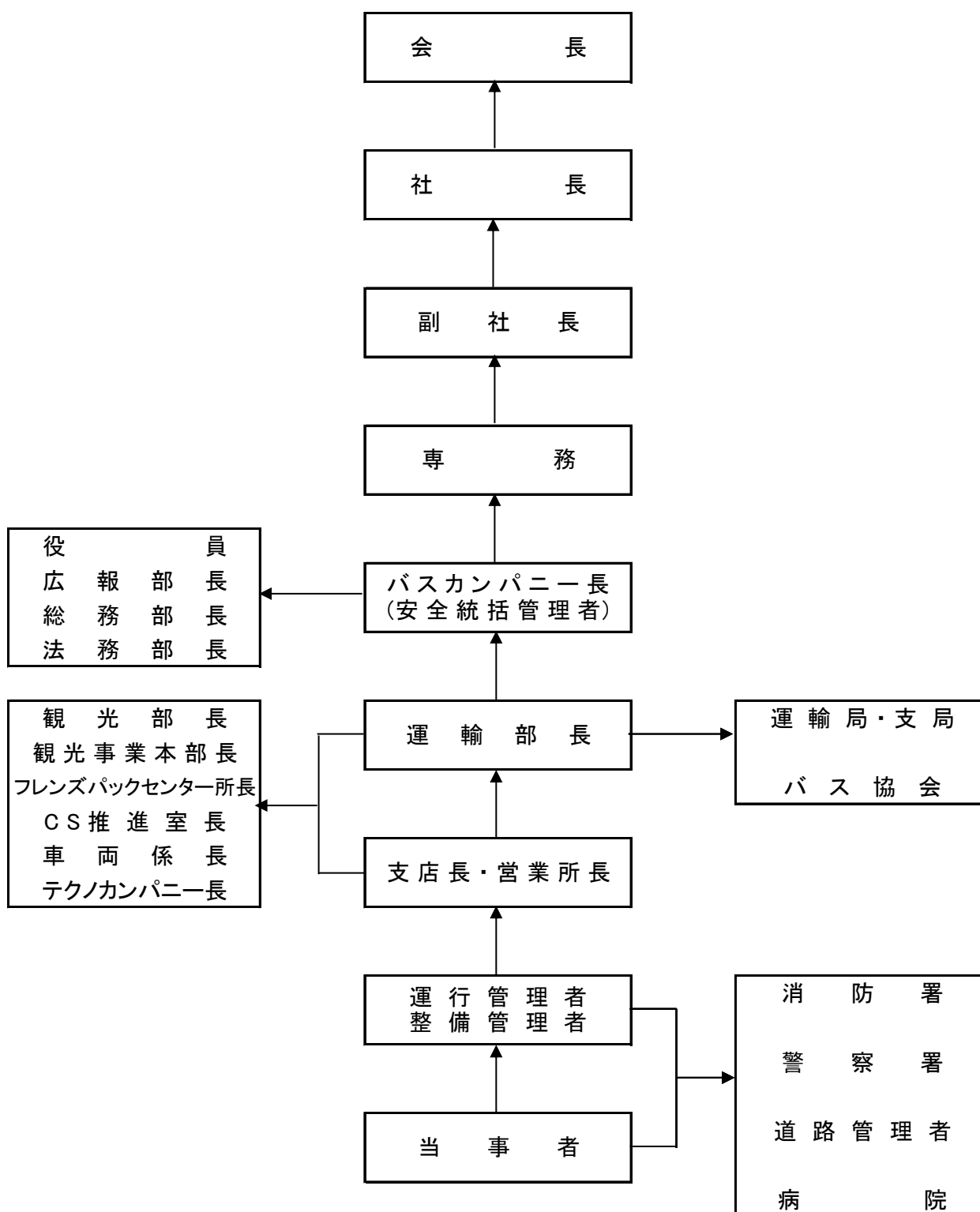
(変更)平成29年4月1日



輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統図



事故・災害等発生時の報告連絡体制図



平成29年度 輸送の安全に関する会議等の実施計画

平成29年4月1日

両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー
東備バス

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
両備グループ安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備グループ安全マネジメント委員会バス部会	○			○					○	○		
両備バス安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSP-up総点検日(毎月10日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高速追突注意の日(毎月15日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自転車注意の日(毎月16日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康管理注意の日(毎月17日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交通事故ゼロの日(毎月19日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交差点注意日(毎月20日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車検注意の日(毎月22日、30日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全統括管理者内部監査									○	○		
SSP-UP技能コンテスト				○(予選会)			○					
両備グループ交通安全月間				○								
両備グループ交通安全日(7月31日)				○								
車検切れの日(5月22日、12月30日)		○							○			
スマホ事件を風化させない日(10月31日)							○					
春秋交通安全運動、年末年始安全総点検	○					○			○	○		
飲酒調査個人面談						○						○
定期健康診断(夏・冬2回)					○						○	
産業医巡回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSPブラッシュアップ委員による面談指導					○							○
中間点検・点呼立会い・添乗指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無事故表彰												○

平成29年 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画

①両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー・東備バス

★両備バス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	担当	備考
新入運転者教育	随 時												集合12日間現場2月	管理課・営業所	(座学)本社(実技)玉柏・西大寺宮 その後 配属先営業所
運行管理者(運行管理補助者)教育	○					○	○	○					0.5日	管理課	(座学)本社
指導運転者教育				○									1日	管理課	(座学)本社(実技)玉柏・郊外
新任運行主任教育					○								1日	管理課	(座学)本社
新任職長・班長教育				○									1日	管理課	(座学)本社
一般運転者教育(ドラレコを使ったKYT・デジタコ・飲酒薬物等)	○	○				○	○	○					1日	管理課	(座学)本社・岡山営業所または大阪支店
事故惹起者教育		○		○		○			○				1日	管理課	(座学)本社(実技)郊外
貸切ステップアップ教育					○		○						2日	管理課	(座学)本社(実技)岡山営・米子道・山陰
高速ステップアップ教育				○									4日	管理課	(座学)本社(実技)岡山営・山陽・中国道・名神道・広島・京都
雪上訓練	○												1日	管理課	(実技)藤山・大山
運行管理者基礎講習						○							3日	NASVA	
運行管理者一般講習		○						○	○	○			1日	NASVA	
安全マネジメント講習会						○	○				○		0.5日	NASVA	
適性診断活用研修(指導者)		○				○				○			0.5日	NASVA	
適性(適齢)診断	○	○				○	○	○						NASVA	適齢は65歳到達後1年以内 以降67歳 69歳時に実施
適性診断受診者個別指導	○	○				○	○	○						営業所	
一般運転者教育(国交省告示1676号)	随 時													営業所	安全運転のしおり、国交省メルマガ等使用
運転実技教育			○					○					1泊2日	クレフィール湖東	

②両備グループ バス部門合同(両備HD・岡山電気軌道・中国バス・井笠バスカンパニー・東備バス・ニッコー観光バス)

★両備教育センター(バス部門 合同教育)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	場所	備考
新任バス運転者基礎教育	随 時												4日	教育C・玉柏	(座学)教育センター(実技)玉柏
新任バス運転者フォロー教育								○					1日	教育C	
ベテラン(高齢)運転者教育(55歳時対象)			○				○					○	1日	岡電岡南	
事故惹起運転者教育		○		○		○		○		○		○	1日	教育C	
事故惹起運転者技能教育	○		○		○		○		○		○		1日	玉柏	
接客サービス教育(苦情多発者対象)		○			○			○			○		1日	教育C・岡山駅	
SSPブラッシュアップ管理者教育			○					○					1日	教育C・本社	
SSPupコンテスト							○			○			1日	玉柏・備岡	7月の予選会は玉柏で実施

平成28年度 輸送の安全に関する研修・設備投資費用

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

項 目	単 価	人員・個数	合 計	備 考
新入運転者教育	86,600	28	2,424,800	制服等を含む
事故惹起者教育	13,600	18	244,800	
高齢運転者教育	7,600	14	106,400	55歳到達時
一般ドライバー教育	4,600	343	1,577,800	
ステップアップ教育	5,000	17	85,000	高速・貸切運転者登用時
指導運転者教育	63,500	2	127,000	クレフィール湖東研修含む
運行管理者(補助者)教育	1,000	137	137,000	社内
運行管理者一般講習	3,100	58	179,800	ナスバ
運行管理者基礎講習	8,700	34	295,800	ナスバ
安全マネジメント講習会	5,100	13	66,300	ナスバ
適性診断	2,300	162	372,600	ナスバ
運転記録証明書	630	552	347,760	
バスロケシステム		119	96,000,000	一般乗合車両
ASK飲酒運転防止インストラクター	18,500	8	148,000	
SAS検査	2,500	65	162,500	
MRI検査	20,000	76	1,520,000	
ETC2.0	35,000	194	6,790,000	貸切・高速車両
ナビゲーションシステム	50,000	182	9,100,000	貸切・高速車両
業務用携帯電話一式	8,090	363	3,017,570	
乗合車両 新造	28,000,000	4	112,000,000	ワンステップ・ノンステップ・AT車
高速車両 新造	60,000,000	6	360,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車
貸切車両 新造	39,000,000	16	624,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車
総 計			1,218,703,130	

* 補助金含む

平成29年度 輸送の安全に関する研修・設備投資計画

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

項 目	単 価	人員・個数	合 計	備 考
新入運転者教育	83,600	30	2,508,000	制服等を含む
事故惹起者教育	13,600	15	204,000	
高齢運転者教育	7,600	15	114,000	55歳到達時
一般ドライバー教育	4,600	350	1,610,000	
ステップアップ教育	5,000	30	150,000	高速・貸切運転者登用時
指導運転者教育	63,500	10	635,000	クレフィール湖東研修含む
運行管理者(補助者)教育	1,000	150	150,000	社内
運行管理者一般講習	3,100	35	108,500	ナスバ
運行管理者基礎講習	8,700	20	174,000	ナスバ
安全マネジメント講習会	5,100	10	51,000	ナスバ
適性診断	2,300	250	575,000	ナスバ
適性診断活用研修(指導者)	2,600	10	26,000	
運転記録証明書	630	500	315,000	
ASK飲酒運転防止インストラクター	18,500	2	37,000	
SAS検査	2,500	60	150,000	
MRI検査	20,000	60	1,200,000	
ドライブレコーダーカメラ増設	45,000	191	8,595,000	貸切・高速車両
点呼・健康:ご安全に!と 車両管理システムの連携	1,500,000	1	1,500,000	
乗合車両 新造	28,000,000	4	112,000,000	ワンステップ・ノンステップ・AT車
高速車両 新造	45,000,000	5	225,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
貸切車両 新造	41,000,000	10	410,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
総 計			765,102,500	

* 補助金含む

ご安全に！

平成29年6月30日

両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー
安全統括管理者 山田 英夫

両備バスカンパニー・両備津山カンパニー
執行役員カンパニー長 山田 英夫

両備バス関西カンパニー
執行役員カンパニー長 金重 雄志